

Ⅸ. 懇談会等【他1：会員相互啓発事業】

(1) 産業調査研究会

産業調査研究会（旧称：産業懇談会）（湯川智子代表世話人、内田士郎代表世話人）は、会員相互の交流・研鑽、国内外の諸問題に関する情報・意見交換、多様な業種・規模の企業経営者間における親睦の深化を目的に活動を行っている。本会活動の基本方針や、時事的な重要課題を踏まえ、会員のニーズに的確に応えるため、14グループそれぞれに世話人・運営委員を置き、自主運営を行っている。

本年度の定例会は、グループ毎に昼食会形式で開催し、メンバーからの話題提供のほか、さまざまな分野で活躍する外部講師を招聘し、幅広いテーマによる講演と意見交換を実施した。加えて、コロナ禍では積極的な実施を見合わせざるを得なかった各種見学会や、親睦を目的としたグループ単位もしくは複数グループによる合同懇談会なども再開し、各グループが活発な活動を展開した。

9月には4年ぶりに「14グループ合同懇談会」を開催し、新浪代表幹事をはじめ165名のメンバーが出席、グループの枠を超えて交流を深めた。

1月および3月には、鈴木純 担当副代表幹事および両代表世話人のもと、「14グループ世話人会」を開催した。世話人会では、同友会オープンアカデミー（仮称）との連携方法や、世話人・運営委員の任期、各グループのメンバー数のバランス、登録者を増やす取り組み、会費体系、ペーパーレス化などさまざまな運営課題について意見交換を実施した。3月の世話人会では、会合終了後に夕食懇談会を開催し、14グループ世話人の交流を図った。本年度末の登録者総数は910名となり、2022年度末より18名増加した。

各グループの活動状況は以下の通りである。

〔第1火曜グループ〕

例会を8回、見学会を1回、懇談会を1回、運営委員会を2回開催した。

本年度は外部講師の招聘を中心とし、共生社会の実現、戦争と平和、アート、経営戦略、LGBTQ など幅広いテーマによる講演を行った。メンバーからは、ヘッドハンティングが求める人物像や、サステナビリティ経営、DX人材の育成など事業の紹介や課題などについての話題提供を行った。懇談会を5月に、総合物流ターミナルである羽田クロノゲートの見学会を10月に実施した。2回開催した運営委員会では、メンバー拡充策や2024年度の運営体制・活動方針などについて討議・決定した。

〔第1水曜グループ〕

例会を8回、見学会を1回、懇談会を1回、運営委員会を1回開催した。

例会では、メンバーよりDXによる事業効率化についての話題提供を、外部講師よりア

ートやエネルギー、生成AI、サイバーセキュリティをはじめとした幅広いテーマについて講演を行った新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせていた見学会および懇談会を本年度から再開し、見学会では、eスポーツ施設を訪問した。運営委員会は1月に開催し、運営体制や講師招聘の企画などについて討議・決定した。

〔第1木曜グループ〕

例会を8回、見学会を1回、運営委員会を1回開催した。

メンバー同士の交流の深化を目的に、例会はメンバーからの話題提供を基本とした。アクティビズムの変遷、再生可能エネルギー、サステナビリティ経営、伝統と革新の経営戦略、終わりのなき挑戦などメンバーの経験や事業の動向、課題などについて話題提供を行った。外部講師を2回招聘し、日本の伝統文化、サイバーセキュリティの講演を行った。9月に東京ドームでの見学会を実施、2月には運営委員会を開催し、2024年度の企画運営について討議・決定した。なお、懇談会はメンバーが企画運営している。

〔第2火曜グループ〕

例会を9回、見学会を1回、懇談会を1回、運営委員会を1回開催した。

外部講師からは、エネルギー環境・産業政策、世界と日本の物価のゆくえ、日本のヘルスケア産業と投資の未来など幅広いテーマで話題提供を行った。このほか、10月には防衛省市ヶ谷地区の見学会を実施し、1月には新年の夕食懇談会を開催するなど多彩な企画で親睦を深めた。運営委員会は2月に開催し、2024年度の運営体制と企画などについて討議・決定した。

〔第2水曜グループ〕

例会を9回、見学会を1回、懇談会を2回、運営委員会を1回開催した。

例会では、メンバーより所属企業・業界の現状と展望などについての話題提供を、外部講師より国際情勢、人口減少・少子化対策などの幅広いテーマについての講演を行った。ソニーグループのショールーム「Sony Square」の見学会および懇談会や、4グループ（第2水曜グループ・第2金曜グループ・第3水曜グループ・第4火曜グループ）共同の新年懇談会も実施した。運営委員会は3月に開催し、運営体制や講師招聘の企画などについて討議・決定した。

〔第2木曜グループ〕

例会を10回、見学会を1回、運営委員会を1回開催した。

例会では、メンバーより地政学リスク、オープンイノベーション、女性活躍推進、事業承継などについて話題提供を、外部講師より、スポーツ事業と地域活性化、デザイン・アートによる社会課題解決、伝統芸能におけるイノベーション、VRメタバースなどの多岐にわたるトピックについて、講演を行った。東京証券取引所の見学会を2月に実施し

た。運営委員会は3月に開催し、2024年度の運営方針などについて討議・決定した。

〔第2金曜グループ〕

例会を9回、見学会を1回、懇談会を1回、運営委員会を1回開催した。

例会では、メンバーより自社の事業の紹介や取り組みを中心とした話題提供を、外部講師よりエベレスト挑戦に向けた苦労話や登頂に成功した意義、デジタル社会が実現した時のメリットや課題などをテーマに講演を行った。4グループ（第2水曜グループ・第2金曜グループ・第3水曜グループ・第4火曜グループ）合同の新年懇談会を1月に開催した。運営委員会は7月に開催し、本年度の運営体制や講師招聘の企画などについて討議を行い、活動方針を決定した。

〔第3火曜グループ〕

例会を9回、見学会を1回、新年懇談会を1回、運営委員会を3回開催した。

例会では、メンバーより所属企業の戦略、デジタルリスクマネジメントについて、外部講師より企業経営、情報セキュリティ、わが国の財政事情について、世界の分断リスク、人材育成など幅広いテーマで講演を行った。11月には、テレビ東京の見学会を実施し、WBSの番組制作説明、撮影スタジオを見学した。1月には恒例の新年懇談会を開催した。運営委員会は3回開催し、本年度および2024年度の企画運営について討議した。

〔第3水曜グループ〕

例会を9回、見学会を1回、懇談会を1回、運営委員会を2回開催した。

例会は、メンバーからの話題提供と外部講師の招聘を半数ずつとし、講演と意見交換を行った。特に外部講師からは、日本銀行新総裁体制での金融政策の見通しや米国大統領選挙を控えた国際社会の展望、中国経済の現状など時事課題に明るい講師を招聘することで学びを深めた。防衛省への見学会や4グループ（第2水曜グループ・第2金曜グループ・第3水曜グループ・第4火曜グループ）合同の新年懇談会も実施した。年2回の運営委員会では2024年度以降の運営方針を議論した。

〔第3木曜グループ〕

例会を9回、見学会を1回、懇談会を2回、運営委員会を2回開催した。

例会では、メンバーより所属企業の事業内容や問題意識などについて話題提供を、外部講師より企業経営、日本の立ち位置、インド情勢、日本酒と町づくり、温泉の効能、アートなど多岐にわたるテーマで講演を行った。10月に帝人のショールーム「テイジン未来スタジオ」を訪問し、高機能材料やヘルスケア製品などを見学した。交流促進のため、5月と10月見学会後に懇談会を開催した。運営委員会は12月と3月に開催し、2024年度の運営体制、講師候補、見学先について討議・決定した。

〔第4火曜グループ〕

例会を8回、見学会を2回、懇談会を3回、運営委員会を1回開催した。

例会では、メンバー自身の所属企業・業界の現状や取り組みについて話題提供を、外部講師からは、日本人と憲法の関係、伝統だけでなく新たなものを作る西洋音楽、資本市場改革の遅れと停滞する成長企業のエクイティファイナンスについてなど幅広いテーマで講演を行った。5月にはNTTとう道、10月にはJR貨物への見学会を実施し、いずれも見学会後に懇談会を開催した。1月には、4グループ（第2水曜グループ・第2金曜グループ・第3水曜グループ・第4火曜グループ）合同の新年懇談会を開催した。運営委員会は2月に開催し、本年度の活動の総括とともに、2024年度の活動計画などについて討議・決定した。

〔第4水曜グループ〕

例会を11回、見学会を1回、懇談会を1回、運営委員会を2回開催した。

2022年度から引き続き「イノベーション」を軸に、例会と見学会を開催した。例会ではメンバー所属企業での取り組みやIOWN構想、サイバー攻撃、eスポーツなどについて話題提供を行った。8月には日本の文化コンテンツのデジタルアーカイブ推進拠点である、NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHIを見学した後、懇談会を開催し、メンバー間交流を深めた。6月と12月に開催した運営委員会では、今後の活動計画やメンバー拡充策などについて検討した。

〔第4木曜グループ〕

例会を8回、見学会を1回、懇談会を2回、運営委員会を1回開催した。

本年度は外部講師の招聘を中心とし、話す力、流山市の経営戦略、第3期習近平政権の国際戦略、国際金融、変貌するメディアの展望など幅広いテーマでの講演を行った。10月には東京国立博物館にて、非公開の修理室などを含めた見学会を実施後、館長を交えた懇談会を開催した。1月には恒例の新年懇談会を開催し、メンバー間の交流を深めた。運営委員会では、本年度の振り返りや、運営委員体制、活動方針などについて討議・決定した。

〔第4金曜グループ〕

例会を8回、見学会を1回、懇談会を2回、運営委員会を1回開催した。

例会では外部講師を中心に、スポーツ、政治、文化、経済展望など幅広いテーマでの講演を行った。11月には、ソニーグループのショールーム（Sony Square）を訪れ、エレクトロニクスをはじめ、音楽、映画、ゲームなどエンタテインメントビジネスを含む幅広い製品・コンテンツを見学した。見学会後にメンバー間の交流を深めるための懇談会を開催し、加えて、恒例の忘年懇談会を12月に開催した。運営委員会は12月に開催し、2024年度の運営委員体制や活動方針などについて討議・決定した。

(2) 幹事懇談会

幹事懇談会は、代表幹事、副代表幹事、幹事、監査役、終身幹事、事務局長および常務理事により構成され、会員相互の交流、情報交換の場として毎月第1週目の金曜日（1月、5月、8月は休会）に昼食懇談会の形式で開催している。本年度は、対面・WEBの併用で、9回の会合を開催した。

就任1年目の副代表幹事2名、就任3年以内の幹事7名からご自身の社業や業界動向を中心に、経営理念や経営課題、問題意識などについて話題提供をいただき、質疑応答と意見交換を行った。

(3) 終身幹事会

本会では、終身幹事と正副代表幹事が本会活動全般などについての意見交換を行う場として、終身幹事会を設置している。

本年度は検討すべき課題がなかったことから開催を見合わせた。